



# 特別賞

調査・計画部門



## 作品概要

作品名——大都市名古屋における「まちなか生物多様性緑化ガイドライン」  
 対象地——名古屋市  
 発注——名古屋市(環境局環境企画部環境企画課)  
 事業目的——名古屋市のまちなかにおいて、多様な主体が生物多様性緑化を進めるための指針となるガイドラインを策定すること  
 事業体制——株式会社ブレック研究所  
 事業期間——2021年5月～2023年3月

## 作品評

本作品は、名古屋市を対象とした生態系回復と、それにつながる生物多様性緑化の考え方をガイドラインとして示したものである。このガイドラインの特徴は、生物多様性緑化推進の基本的考え方として、地域性や実現の可能性を重視し、「名古屋で出来ること、まず取組めること」にポイントが置かれている点と、モデル事業で得られたデータを活かした具体的な緑化手法が多く示されている点にある。また、生物多様性緑化に関する先進事例を幅広く研究し、有識者の意見を聴取してガイドラインに反映させていることが内容に幅と深みを与えている。生物多様性保全や都市の緑化では、出来るだけ多くの市民・企業・団体等が、自分たちの出来る範囲で実行できることを進めていくことが重要であり、大きな成果を得る鍵となるが、この点についても誰もが取組める活動を意識した手法が、取組意欲を高める支援制度等の参考情報とともに、写真やイラストを用いて表示されており、ガイドラインとしての質の高さ、分かりやすさが感じられる内容となっている。プレゼンテーション資料も、全体的な方向性と具体的な内容がバランス良く取り込まれた構成となっており、これらの点が評価され特別賞となった。

調査・計画部門

# 大都市名古屋における「まちなか生物多様性緑化ガイドライン」

株式会社ブレック研究所

東広之・中川有里・家倉凌・磯谷のぞみ・水野章子

本作品は、大都市名古屋において、生物多様性緑化を進め生態系を回復させていく指針「なごやのまちなか生物多様性緑化ガイドライン」である。国内外でネイチャーポジティブに向け取組を進める機運が高まる中、生物多様性条約 COP10 の開催都市・名古屋市において生物多様性緑化を社会実装し、市の魅力向上につなげていくことを企図したものである。

## 「名古屋の生態系ネットワーク」の考え方

名古屋市のまちなかでは、名古屋城・名城公園や熱田神宮など一部を除いて、生きものの生息・生育地の拠点となり得るまとまった緑地は存在せず、小規模な緑地が点在している状況にある。そのため、緑地の少ないまちなかに、飛び石状にでも、生きものが利用できる生物多様性緑地を数多く創出することが重要である。これにより、まちなかの生きものの生息ポテンシャルを高め、市周縁部(東部丘陵等)から鳥や蝶などの飛翔性動物を誘うことで、市域全体としての生態系ネットワークを強化し、名古屋の生態系を豊かなものとする(図①)。

## 生物多様性緑化するためのポイント

本ガイドラインにおいて、名古屋市における「生物多様性緑化するためのポイント」を示した。先行事例調査・先進事例調査・生物学的知見・懇談会意見・モデル事業から得られた教訓等を踏まえながら検討を行い、生物多様性緑化を実際に進めるための基本的な考え方や具体的な手法について解説したものである。また、「みんなで進める生物多様性緑化(理想の姿)」(図②及び図③)を描き、本ガイドラインを活用して実現する生物多様性緑化のイメージ共有を目指した。

## 生物多様性緑化のより広い実践に向けて

事業者や市民等の生物多様性緑化に取り組むハードルをできるだけ低くするため、「おすすめ在来種リスト」や「目標種の例」を掲載した。また、「プランターの活用」「収穫を楽しむ」など比較的容易に取り組めることを各所に満載し、誰もが生物多様性緑化に取り組めることを意識した。

名古屋市では、現在も「都心の生きものの復活事業」を行い、生物多様性に配慮した緑化の推進に取り組んでいる。本ガイドラインを活用いただくことで、市・事業者・市民等が連携した生物多様性緑化が広がっていき、生物多様性豊かな魅力あふれる都市に近づく一助となれば幸いである。

【生物多様性緑化するためのポイント】

事前構築

ポイント① 緑地のコンセプトを考えよう

- ◆ 呼びたい生きものをイメージする(目標種の設定)
- ◆ 緑地のストーリーを考える
- ◆ グリーンインフラの機能を高める

維持管理

ポイント④ 維持管理の工夫をしよう

- ◆ 必要な作業と役割分担をイメージする
- ◆ 時間をかけて緑地を育てる
- ◆ 近隣住民などに配慮する
- ◆ 農薬や肥料に気を使う
- ◆ 剪定や草刈り、清掃に気を使う
- ◆ モニタリングをする
- ◆ 緑地をPRする

施工

ポイント② 生きもののエサ場・すみかとなる工夫をしよう

- ◆ 緑をできるだけ増やす
- ◆ 土に気を配る
- ◆ 花や実をつける植物を植える
- ◆ ワンパターンにしない
  - ・様々な種類の植物
  - ・花の色・高さ・開花時期
  - ・木の高さ・植える間隔
  - ・草地をつくる
  - ・水辺をつくる

ポイント③ 在来種を植えよう

- ◆ 侵略性のある植物は植えない
- ◆ 在来種を植える

①名古屋の生態系ネットワークのイメージ ②「みんなで進める生物多様性緑化」(マンション) ③「みんなで進める生物多様性緑化」(戸建て住宅)  
 ④ガイドラインの表紙 ⑤生物多様性緑化するためのポイント ⑥モデル事業実施地